

3巻 (205)

樋口一葉の

につ記

138

攝津國能勢郡
 家途程遠馳思
 後會難逢
 江月照 松風吹
 永夜清宵何所為

親中
 親中
 親中

不寐心知何下の花一枝に
 指のしりし可憐美形を
 人のあしし何れも七ツの夜

甲州山梨郡
 中瀬原村

① 207
 ② 208
 ③ 209
 ④ 210
 ⑤ 211
 ⑥ 212
 ⑦ 213
 ⑧ 214
 ⑨ 215
 ⑩ 216
 ⑪ 217
 ⑫ 218
 ⑬ 219
 ⑭ 220
 ⑮ 221
 ⑯ 222
 ⑰ 223
 ⑱ 224
 ⑲ 225
 ⑳ 226
 ㉑ 227
 ㉒ 228
 ㉓ 229
 ㉔ 230
 ㉕ 231
 ㉖ 232
 ㉗ 233
 ㉘ 234
 ㉙ 235
 ㉚ 236
 ㉛ 237
 ㉜ 238
 ㉝ 239
 ㉞ 240
 ㉟ 241
 ㊱ 242
 ㊲ 243
 ㊳ 244
 ㊴ 245
 ㊵ 246
 ㊶ 247
 ㊷ 248
 ㊸ 249
 ㊹ 250

215
 改丁
 あやしうつむりなやましうて
 なるきりか今日うきせはしがるわが葉りか
 りに、初由ほと、さうなごわたり涙を、こと
 の秋裕ふるみかしう取ぬめる、さりとほ心も
 なしや、垣の竹の子さぬ、さすて、まき葉
 ら、朝露の新らしさと見るもいと恥かし

日東飯後
 二十日
 3月11日
 3月12日
 3月13日
 3月14日
 3月15日
 3月16日
 3月17日
 3月18日
 3月19日
 3月20日
 3月21日
 3月22日
 3月23日
 3月24日
 3月25日
 3月26日
 3月27日
 3月28日
 3月29日
 3月30日